

令和5年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【東浦和中学校】

⑥ 次年度への課題と改善策	
知識・技能	
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

① 目標・策		
	目標	策
知識・技能	さいたま市学習状況調査の自校結果において、「知識・技能」の観点の正答率が市平均を上回る。	⇒ 基礎的・基本的な内容の定着を図るために、より丁寧な問題演習や単元テスト等を繰り返し実施し、結果から課題点を分析し、授業の取組の工夫・改善をしていく。
思考・判断・表現	さいたま市学習状況調査の自校結果において、「思考・判断・表現」の観点の正答率が市平均を上回る。また、無回答率が市平均より下回る。	⇒ 学習に対する意欲を高め、諦めずに最後まで取り組む姿勢を育てるために、ICTを活用しつつ生徒が自分の活動を振り返ったり、教員から成果をフィードバックし評価する場面を増やす。
主体的に学習に取り組む態度	さいたま市学習状況調査「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問項目において、肯定的な回答の割合が90%を上回る。	⇒ 授業等で与えた課題に対して、一人で、または他と協働して解決方法を考える時間を設け、粘り強くかつ計画的に課題に取り組ませるよう支援する。また、課題解決後には、自ら考えた解決方法が適切であったかどうか振り返る時間を設ける。

⑤ 目標・策の達成状況		評価(※)
知識・技能		
思考・判断・表現		
主体的に学習に取り組む態度		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

② 全国学力・学習状況調査結果・分析	
知識・技能	R5年度全国学力・学習状況調査において、全国の平均正答率を国語、数学、英語すべてにおいて上回った。R4年度の自校の結果と比較し、数学は+1であった。国語の言葉の特徴や使い方に関する問題で語句や漢字を正しく理解し書くことを苦手とする生徒が多かった。
思考・判断・表現	英語の「読むこと」において、文章の概要を捉えること問題の正答率が低いことから文章から正しく情報を読み取れていないことが考えられる。授業でのリテリング活動を丁寧に行いたい。数学ではデータの分布の傾向を比較し判断する理由を数学的な表現を用いて説明する問題の無回答率が高いため、答えを導く過程を言葉で説明する活動を今後も授業で継続して行っていく。
主体的に学習に取り組む態度	質問紙項目の「自己有用感」の数値が全国と比べ上回った。「先生がよいところを認めてくれていると思うか」における肯定的な回答は100%であった。しかし「課題の解決に向け、自分で考え自分から取り組んでいたか」における肯定的な回答は89.9%であった為、現在の取組を継続しつつ、子どもたちの活動の目標設定や動機づけをより明確にするなど授業改善に努める。

④ さいたま市学習状況調査結果・分析	
中1	
中2	
中3	

③ 中間期見直し(全国学力・学習状況調査結果分析後)		
	目標	策
知識・技能	変更なし	⇒
思考・判断・表現	変更なし	⇒
主体的に学習に取り組む態度	変更なし	⇒